

平和な横須賀

ジェンダー平等

議会報告

福祉充実

エネルギー・シフト推進

サルサ！ふじそのあき

暑い日が続いています。暑すぎてプールに行けないとか、エアコンなしでは危険とか、夏の過ごし方が大きく変わっています。暑さに対応しながら、CO2削減を進めていかなくてはなりませんね。

第14号



ブログご覧ください

横須賀市で3つの選挙がありました。



6月22日に横須賀市長選挙と市議補欠選挙、7月20日に参議院議員選挙がありました。日本共産党は市長選挙に無所属のためそう稔さんを推薦し、参議院選挙は消費税減税などを掲げて当選を目指しました。

主な選挙結果

6月22日横須賀市長選挙
当 上地克明 67106票

おばたさおり 55045票
ためそう稔 6204票
投票率40.6%（前回は33.41%）
市議補欠選挙は2名が当選しました。

7月20日の参議院選挙は、日本共産党は3候補が当選ましたが議席は減りました。神奈川選挙区のあさか由香候補は及びませんでした。



パレスチナに一刻も早い平和を

イスラエルはパレスチナ・ガザ地区を封鎖した上で空爆し、住民の飢餓も危機的な状況です。イスラエルはヨルダン川西岸地区も破壊し殺りくしています。飢餓は医療従事者や支援者にも及び、国連施設も攻撃されています。国連を排除しイスラエルと米国が共同で限定された配給を行い、そこに殺到するガザ住民を銃撃するという、残虐な状況です。

南アフリカが起こした対イスラエルのジェノサイド裁判には、他の国々も参加を表明し、パレスチナの国家承認も呼びかけられています。日本を含む28カ国の外相が共同でイスラエルの対応を非難しており、米国が平和に向かい態度を変化することが求められます。

世界中でパレスチナに連帯するデモが取り組まれています。

7月25日に横須賀中央でパレスチナの平和を求める緊急行動を行いました。参加者は鍋やフライパンを叩き、パレスチナの歌謡曲にのせて民族舞踊のステップを踊りながら、「パレスチナにパンと薬を」と訴えました。



横須賀中央で行われたパレスチナに連帯するデモ



お困りごとのご相談は
横須賀市議会議員
ふじそのあきへ
お気軽にどうぞ

TEL : 080-7019-9161
Mail : aki-fujisono
@yokosuka-city-council.jp

Mail QR



X(旧Twitter) : @jcp_fujisono

揺らぐ「平和国家」

「戦争国家」にさせてはいけない！

トマホークを海上自衛隊に配備しないで

2022年に閣議決定された「安保3文書」は「憲法9条」「専守防衛」をないがしろにする問題があります。配備する計画のトマホークは6月のイラン核施設への奇襲攻撃にも使われた武器です。米海軍横須賀基地のイージス艦には搭載されていますが、自衛隊への配備は日本が「戦争国家」になることを意味します。

子どもたちに平和
な日本を残した
い。

市内平和団体と
市民による[トマホー
クアクション20
25]は駅前での活
動や署名活動を行
なっています。



7月12日横須賀中央でのトマホークアクションに参加しました。実物大の布製トマホークを展示しています。

小学校の環境整備

統廃合ありきではない議論をしよう

4月に長浦小・田浦小と、馬堀小・走水小が統合され、バス通学が始まりました。大きな変化で困っている児童もいるのではないかと思います。気持ちに寄り添った対応が求められます。旧田浦小学校と旧走水小学校では跡地利用についての住民説明会が開催されています。

逸見小・沢山小・汐入小・桜小を対象とした教育環境整備検討が始まっています。

町内会やPTAによるアンケートが取り組まれています。市教育委員会は「横須賀市立小・中学校の適正規模及び適正配置に関する基本方針」の改定について、横須賀市立小中学校適正配置審議会へ諮問しました。

安全な学校・通学をみんなで考える、丁寧な議論の場が必要です。



6月定例議会

今年度は民生常任委員会に所属しています。委員会で質問しました。

妊娠婦検診と産後ケアについて

妊娠初期は、仕事をどうするか、結婚をどうするかなど、大きな決断の中、つわりの負担も抱えながら、初期費用もかかります。自治体として、費用面での補助拡大が必要です。

横須賀市では今年度から産後ケアが拡充されました。一方で減らされたサービスもありますので、より使いやすい制度にしていくために質問しました。

- ・保険適用外である妊娠婦検診の費用補助について
- ・母子健康手帳交付について
- ・産後ケア利用回数について

生活保護の支援拡充について

物価高騰の中、生活保護支援の拡充が求められています。

- ・通院時の交通費支給は2ヶ月分を申請し、翌月に支給が基本だが、個別対応もできるとの答弁がありました。
- ・夏季のエアコンは必須です。夏季加算を国はなかなか認めませんが、引き続きの要請が必要です。
- ・水道料金の福祉減免を生活保護世帯にも適用するように求めました。措置費に含まれているという答弁でしたが、引き続き求めていきます。

日産追浜工場の車両生産が2027年度末で終了

日産自動車は追浜工場での車両生産を2027年度末に終了すると発表しました。工場以外の総合研究所や衝突試験場、専用埠頭などは継続するとしています。

日産は経営決断としながら退任した役員4人に計6億4600万円の退職金を出し、3.4兆円の内部留保があります。雇用と地域経済を守る社会的責任を果たすべきです。

横須賀市は市役所内に日産自動車追浜工場の車両生産終了に伴う相談窓口を設置しました。ぜひご利用ください。

差別のない社会を目指します

参議院選挙中に外国籍の住民を脅かすような言説が政党・候補者によって広められました。一方で危惧の声が高まり、7月23日の全国知事会では「外国人は日本人と同じ「生活者」「地域住民」である」として、国に対して外国人の受け入れ支援と多文化共生社会の実現を求めました。

横須賀市では外国語による案内などの支援を行なっています。さらに困っていることがないか、住みにくくないかなど、当事者の方のご意見を伺い、差別のない横須賀市であるように努めてまいります。